

# 秋保 いってみっぺ

秋保大滝の不動橋から滝壺に下る道の右側に、新川に抜けるふるさと緑の道の入口がある。

林道に交差する沢の小滝を覗いたり新緑や紅葉の樹々の合間から大笠山を仰いだりしながらヒバや杉の美林を抜けると、木橋を渡って練田峠への登り道へ。峠のベンチで休んだら、気持ちの良い笹原を抜ける風が新川への下り道に誘う。

道端にひっそりと佇む巨木をたどり、樹々の間から聞こえる様々な鳥の声に耳を澄ませ、時に地層の露頭に地球の歴史を感じながら、さらに森を抜けて行こう。派手さはないが正に玄人好みの峠歩き。里山と奥山の両方の魅力を感じさせてくれる。

## ふるさと緑の道 ねった 練田峠を歩いてみる 秋保大滝から新川へ

### いってみっぺ 秋保

ふるさと緑の道  
練田峠を歩いてみる  
秋保大滝から新川へ

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市  
連絡先：秋保総合支所まちづくり推進課 (022-399-2111)  
秋保市民センター (022-399-2316)

いにしえ人は何を想い  
この道を歩いたのだろうか  
野鳥ざわめく緑の隧道の先は  
なぜか心地よい  
喧騒とは無縁の空間が待っている

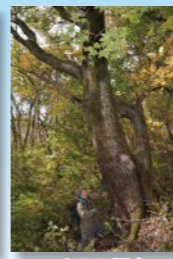
秋保大滝と青葉区新川を結ぶ山道、緩やかな登りの西向林道の先は、豊かな広葉樹の森で覆われた「練田峠」越えである。  
植林や炭焼きなど山仕事の往還道として使われ、秋保郷西端の馬場と新川を結ぶ道筋だった。  
西に鎮座する大笠山から続く峯筋を貫通するこの峠道は、人里から離れた深い森を辿るがゆえ、野生動物たちの生息域の真っ只中を行く。  
非日常の聴覚と視覚を感じる、濃い空気と清らかな水が冴え渡る峠越えの空間だ。



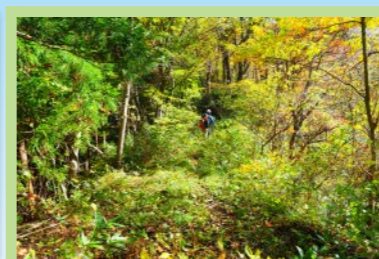
# ふるさと緑の道 ねった 練田峠を歩いてみる 秋保大滝から新川へ



鮮やかな紅葉の中を進む秋の景観



コナラの巨木



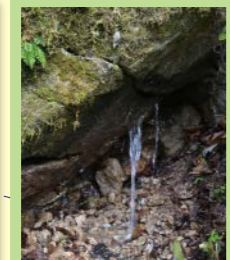
**8 分水峯**  
名取川と広瀬川を分ける分水の峯、左右をみながらゆっくり歩く。



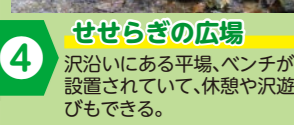
**9 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
杉林の急坂を下り、樋口沢に架かる木橋を渡る。橋のすぐ上流には、岩の谷間を浸たり落ちる景観豊かな小滝がある。



**4 せせらぎの広場**  
沢沿いにある広場、ベンチが設置されていて、休憩や沢遊びもできる。



**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**4 せせらぎの広場**  
沢沿いにある広場、ベンチが設置されていて、休憩や沢遊びもできる。



**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



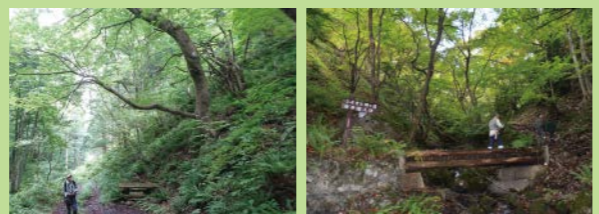
**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



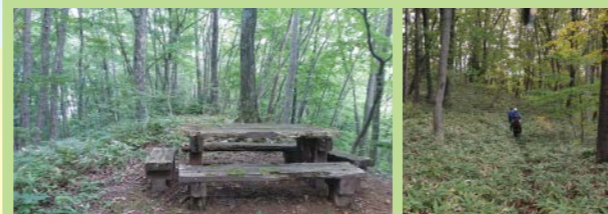
**2 めだきポンプ場**  
秋保郷の田圃を潤す、秋保最西端の取水ポンプ場。



**1 不動滝橋駐車場**  
スタートとなるふるさと緑の道の看板。滝つぼ駐車場の向いの正面を進む。



**6 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
林道終点はベンチとイタヤカエデの巨樹が目印。そこから木橋を渡りつづら折りの登山道となり、鬱蒼とした広葉樹の森を進む。



**7 練田峠**  
緩やかな勾配の頂上部にはベンチがある。コナラ、クヌギなどの樹木が林立し、地面に張り付くように広がる笹原を見ながら、少しばかり峠越えの達成感を味わう。



**丸子山**  
▲850m



**ハツ森山**  
▲674m



**6 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
林道終点はベンチとイタヤカエデの巨樹が目印。そこから木橋を渡りつづら折りの登山道となり、鬱蒼とした広葉樹の森を進む。



**7 練田峠**  
緩やかな勾配の頂上部にはベンチがある。コナラ、クヌギなどの樹木が林立し、地面に張り付くように広がる笹原を見ながら、少しばかり峠越えの達成感を味わう。



**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



**2 めだきポンプ場**  
秋保郷の田圃を潤す、秋保最西端の取水ポンプ場。



**1 不動滝橋駐車場**  
スタートとなるふるさと緑の道の看板。滝つぼ駐車場の向いの正面を進む。



**6 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
林道終点はベンチとイタヤカエデの巨樹が目印。そこから木橋を渡りつづら折りの登山道となり、鬱蒼とした広葉樹の森を進む。



**7 練田峠**  
緩やかな勾配の頂上部にはベンチがある。コナラ、クヌギなどの樹木が林立し、地面に張り付くように広がる笹原を見ながら、少しばかり峠越えの達成感を味わう。



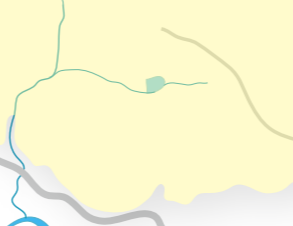
**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



**2 めだきポンプ場**  
秋保郷の田圃を潤す、秋保最西端の取水ポンプ場。



**1 不動滝橋駐車場**  
スタートとなるふるさと緑の道の看板。滝つぼ駐車場の向いの正面を進む。



**6 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
林道終点はベンチとイタヤカエデの巨樹が目印。そこから木橋を渡りつづら折りの登山道となり、鬱蒼とした広葉樹の森を進む。



**7 練田峠**  
緩やかな勾配の頂上部にはベンチがある。コナラ、クヌギなどの樹木が林立し、地面に張り付くように広がる笹原を見ながら、少しばかり峠越えの達成感を味わう。



**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



**2 めだきポンプ場**  
秋保郷の田圃を潤す、秋保最西端の取水ポンプ場。



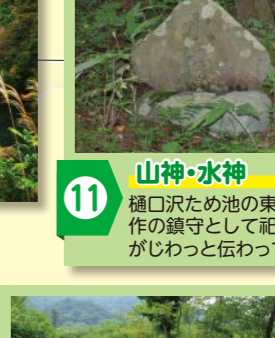
**1 不動滝橋駐車場**  
スタートとなるふるさと緑の道の看板。滝つぼ駐車場の向いの正面を進む。



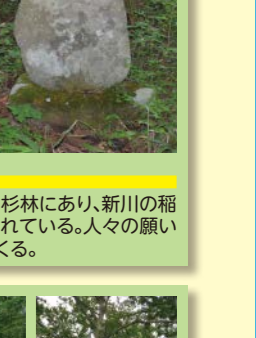
**6 ふるさと緑の道遊歩道入口・木橋**  
林道終点はベンチとイタヤカエデの巨樹が目印。そこから木橋を渡りつづら折りの登山道となり、鬱蒼とした広葉樹の森を進む。



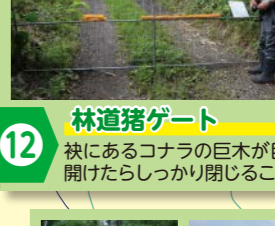
**7 練田峠**  
緩やかな勾配の頂上部にはベンチがある。コナラ、クヌギなどの樹木が林立し、地面に張り付くように広がる笹原を見ながら、少しばかり峠越えの達成感を味わう。



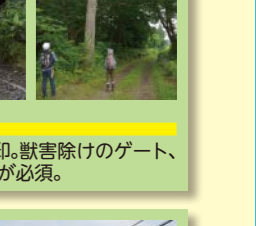
**5 西向清水**  
大笠山の裾岩の間から流れる清水。



**3 二条の小滝**  
木漏れ日こそそぐ二条の小滝



**2 めだきポンプ場**  
秋保郷の田圃を潤す、秋保最西端の取水ポンプ場。

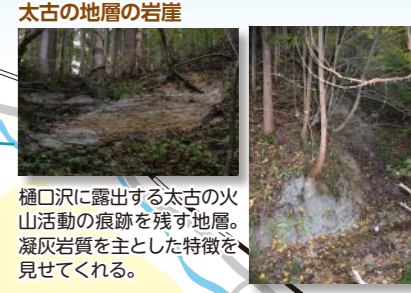


**1 不動滝橋駐車場**  
スタートとなるふるさと緑の道の看板。滝つぼ駐車場の向いの正面を進む。

## コースの目安

※山歩きの服装が基本スタイルです。熊やイノシシなどの野生動物が多く生息していますので熊鈴等の対策は必須で、青葉の季節はヤマヒルやマムシにも注意です。また季節によっては樹木が繁茂し、除草などの整備が行き届いていない部分もありますので、案内者同行がおすすめです。

- ① 不動滝橋駐車場 20分
- ② めだきポンプ場 20分
- ③ 二条の小滝 20分
- ④ せせらぎの広場 15分
- ⑤ 西向清水 20分
- ⑥ 遊歩道入口・木橋 15分
- ⑦ 練田峠 20分
- ⑧ 分水峯 5分
- ⑨ 遊歩道入口・木橋 15分
- ⑩ 林道出合い 20分
- ⑪ 山神・水神碑 10分
- ⑫ 林道猪ゲート 15分
- ⑬ 熊野神社 3分
- 旧新川分校



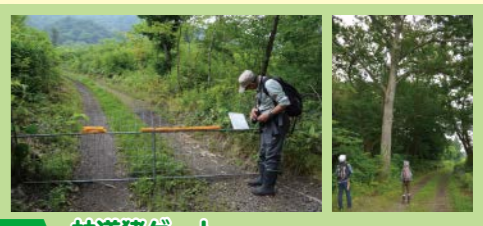
**太古の地層の岩崖**  
樋口沢に露出する太古の火山活動の痕跡を残す地層。凝灰岩質を主とした特徴を見せてくれる。



**10 林道出合い**  
中村林道との合流地点、休憩場所に最適。



**11 山神・水神**  
樋口沢ため池の東の杉林にあり、新川の稲作の鎮守として祀られている。人々の願いがじわっと伝わってくる。



**12 林道猪ゲート**  
袂にあるコナラの巨木が目印。獣害除けのゲート、開けたらしっかり閉めることが必須。



**13 熊野神社**  
新川地区の本通りとの合流点にあり、地元住民により大切に祀られている。東方には、旧作並小学校新川分校校舎が見える。

秋保温泉へ